

おおこうさん

大甲山・荒尾山・植松山 (実粟50山)

日 時：5月4日(火・祝)～5日(水・祝) 参加者数：延べ22名

参加者：テント泊の組・・・L：上田・大谷・塩津・砂川(美)・西村・森川・森永

4日 日帰り組・・・貝塚(陽)・狩集・切貫・澤田(卓・律)・清水・竹内・中嶋
舩賀・待場・和田・渡邊(健)

5日 日帰り組・・・山本・北川・切貫

行動記録：5/4 宝殿駅7：45～別所SA8：00～道の駅南波賀9：00～9：15～
大甲山登山口(ストレッチ)9：50～行者山10：40～10：50～大甲山
11：30(昼食)～11：55～荒尾山12：25～12：35～大甲山13：
00～13：10～大甲山登山口14：15～フォレスト波賀キャンプ場
5/5 キャンプ場8：45～道の駅南波賀9：05～植松山登山口(ストレッチ)
9：35～尾根コース分岐10：02～10：07～山上庭園11：20～植松
山11：35(昼食)～12：05～小河内の滝13：35～13：45～尾根分
岐14：13～植松山登山口14：50～エーガイヤ千種温泉

大甲山 ～ 荒尾山

実粟50名山「大甲山」・「荒尾山」
は初めて登る山である。地形図をもとに尾根、ルート等を記入した概念図を作成。またガイドブックから主要ポイント間の時間、全コースの所要時間を調べ、山の状態を把握、山行に備えた。

山行当日は晴れの申し分のない天気。但し、気温は高くなり暑くなりそう。今回は車による移動だ。別所SAで、テント泊り組7名と日帰り組12名が集結。

国道429号の道の駅「みなみ波賀」を経由し登山口を目差す。

国道429号から登山口への進入路が判らず通過する。引き返して、そこへの道標を見つけ狭い坂道の林道を走ること10分、やっと登山口に到着。ストレッチ後、9時50分に出発。登山路(林道)の幅は広いが、石がゴロゴロと無数にあり歩きづらい。道の左右は杉林が続く。

30分程歩いた所で林道は途絶え、ここから上りの狭い小道。少し行った先に、小さな行者堂があり今日一日の無事を祈る。山腹を登りつめた所に行者の大岩があった。「えー景色やで一、上がってきたらー」

竹内

大岩に立っている森川さんの声。さっそく、そこに上がってみた。周囲は山々に囲まれ、



眼下に波賀の町が眺められ実にすばらしい絶景だ。おまけに、ひんやりとした涼しい風が汗ばんだ顔に吹きつけ、本当に気持ち良かった。

山腹をジグザグに登る歩きにくい小道は続く。その途中で道がなくなる。「道を間違えた？」の声がする。赤いリボン等の標識を見落としたのだろうか。上を見上げ探すと、木々の隙間から赤いリボンが見えた。足元に注意して滑らないよう慎重に、そこに向かって急登。やっとコースに出た。

「あーしんど～」思わず声がでた。その先

に、大甲山頂上まで300mの立派な道標があり、これを見て俄然元気が出てきた。後は訳無く大甲山山頂に到着。

ここからの眺望は幾重にも連なる山々が見えるのみ。「黒尾山」、「水剣山」が見えるらしいが、どの山か不明。ここで食事を済ませ「荒尾山」へと向かう。25分でそこに到着。ここからは山容の大きな「植松山」の勇姿が望めた。

下山は来た道を戻り登山口に着く。フオレストステーション波賀で入浴。

帰路、山陽道で事故があり、その影響で、

姫路西バイパスから中地までの間、渋滞に巻き込まれたが無事高砂に到着。

運転手の皆さん、安全運転を有難うございました。

[反省] 道を間違えた箇所を、下山時に状況を確認する。

＊山腹の上りで、枯葉がいたる所を覆い道が判りづらい。踏み跡もあり、コース外れの方が、より道らしく思え、そのままつき進んだのが原因のようだ。

＊今後はより一層、周囲を観察し、道迷いを起こさないように歩きたい。

★ テント泊山行 ああ 楽しかった！

森永

連休までのぐずついた天気も、今日はなんと素晴らしい青空か！そして例年より長く、桜の花でピンク色だった山が、若葉の緑に美しく模様替えしてきている。

大甲山登山口への道は、「寺の墓標があり、川を渡って林道に入る」と案内書に出ていたそう。川を渡ると言っても、県道に沿っての道は少し分かりづらかった。登山口からは、昨年の水害で倒木が多くあるが、山の木々は良く手入れされ、最初は杉林、中腹は落葉樹、頂上附近は、ヒノキが植樹されていた。登山口からすぐに大きな岩があり、その下に行者堂があって仏様が祭られていた。岩に登り、岩の上からの景色は素晴らしかった。

そこから落葉樹が多く滑らないよう注意して歩いていたが、道幅がいつの間にかすごく狭くなり、平均台の上を歩くように片足しか通れなくなった。さては目印を見落としたかと気づき、あたりを見上げると木が良く手入れされていて赤いテープが見えた。そこまで斜面をよじ登った。

「本当の道と道迷いをした道は、踏む感覚で分かるものだなあ・・・」と思った。大甲山で昼食、それから荷物を置いて荒尾山まで30分、ガイド通りの速度で登り、頂上

から明日登る植松山のなだらかな稜線が眺められた。それから下山、日帰り組と別れて東山キャンプ場へ・・・テント泊の大好きな私。オートキャンプ場に着き、まずビックリ！100張ほど出来る大きな施設、それに蚊帳つきリビング・寝室などがあり、システムキッチンの様な棚には、電気釜が置かれている所もあった。

私達はテーブルを用意してなかったので管理人にリースはないかと聞くと、わざわざ届けて下さった。私達のテーブルにも、「鮭のチャンチャン焼き・さんまの蒲焼き・オニオンサラダ・キュウリとウインナーのスティック」と、豪華な料理が食卓を飾った。ビールで乾杯、時間もたっぷりあり色々な話で盛り上がった。

「おいしい！おいしい！」と言って食べてくださったのが何よりの喜び・・・その後、ご飯が余ったので、おにぎり作り。今まで作ったことのない男性達に、おにぎり講習会となった。その夜、あまり眠れてないと思ったが、人から「いびきをかいて寝ていたよ。」と言われ、やはり疲れて知らない間に寝ているものだなと思った。

翌朝、日帰り組3人と波賀南で合流。植松山の道幅は広いが、ここも水害で荒れ

ており、ゴロゴロ石の上を登った。

途中、小鹿がピョンピョン斜面を駆けるのを見た。さらに少し行くと、ヘビが道を横切り、Kさんの所に近づいてきた。

「きゃー！きゃー！」と叫んでも、ヘビはよろよろと迫ってくる。悲鳴をあげるKさんだが、さすがにヘビには駄目で通じなかった様子がおかしかった。この暖かさ（27℃）に浮かれ、動物も人間と同じ、じっとして居られないらしい。

きのう大甲山から眺めた植松山は、まだ



昨年の水害により埋まってしまった植松山の標柱

らかで優しそうに思えたが1000m以上ともなると、やはり容易くはなかった。

頂上からアケビ林を抜けると、荒尾山が目に見え、稜線続きで行けそうな感じだった。その後ろに大甲山の頂上が少しだけ見えた。植松山の山上庭園近くで昼食をとり下山する。しかし標識がなく下山口を探すのに少しうろついた。

倒木や沢を幾つか越え、なかなか風流な滝にも出会い、満足して駐車場に戻る。

帰途、エイガイヤ千種で入浴、65歳以上は200円という安さにビックリ。汗を流してさっぱりした気分が6時頃には宝殿に帰れた。とても楽しかった！



被害の大きさを物語っている

ネパールからの報告（7）

★ いよいよ最終日

明日はいよいよ帰国だ。10月15日から始まったカラパタールトレッキング、どん晴れに恵まれ、予定通りに行程が進み、10月31日は予備日として楽しむことになった。

ナワンは、この日から私たちとは別に、広島からやってきたグルーブを案内して又トレッキングにトンボ帰りである。そのために私たちだけで、一日を過ごさなければならない。

「モンベル・カトマンズ店」が、市内に新しく発足したとの案内を知っていたので、訪ねてみることにする。「地球の歩き方」のカトマンズエリア地図を頼りに、それこそシルバコンパスを頼りに一路モンベルに向けて歩く。歩き疲れた頃、やっと「モンベル・カトマンズ店」の看板を見つける。

案内の通り、内庭をはさんで「コスモトレック」と向かい合せに店があった。店内の品物は、

砂川

正に日本で見ると同じモンベル製品で、品数はまだ開店間もないので、そんなに多くないが、一通りは揃っている。現地の若い男性が日本語で対応してくれる。せっかくだから、記念に眼鏡の帯を買う。値段は日本とあまり変わらないうか、少し高めに感じた。

モンベルの会員カードを持っている人には、「コスモトレック」でカトマンズ市内の地図を提供とあったので、向かいの「コスモトレック」にも立ち寄る。出てきた現地の従業員が、上手な日本語で対応してくれる。しばらく話していると奥から少し年配の日本人女性が出てこられ、ネパールでの最近のトレッキングの状況など話してくれる。

彼女の話によると、今年は外人トレkkerに下痢の症状を訴える人が多かったとか。それはある意味、トレkkerのオーバーユースから、

又ネパールでの水道事情から、利用する水の水質汚染が原因のようである。

ルクラからカトマンズに帰った 30 日、ナワンに案内されて古都のパタンを訪れた。この古い都の各所に、大きな人工的な池があって、この池の壁から水がほとぼしっているのを見た。



この水は、どうも地下水のようである。

この水を飲み水に使っているようだし、その側が洗濯場にもなっている。これは古都パタンの市民にとっては貴重な水源であるようだ。

今は乾季にあたり、池に水は溜まっていな
いが、雨季にはプール様に一杯の水に満たさ
れるとのことだ。

いずれにしても、カトマンズの水質はあまり
良くない。ホテルで水道水を溜めると薄く黄色
に濁っている。沸騰させると少し匂う。コーヒー
を入れても香りがしないし、美味しくない。

この地では、やはりミルクティーが似合っ
ているのかもしれない。

*これはナワンの話の中から出てきたもの
だが・・・ネパールで一番に悪い人は、

①.警察官 ②.軍人 ③.盗賊だと言う。

一番に悪い人が警察官という理由は良く
分からないが、カトマンズの雑踏の街角で、
警察官の立姿をよく見かける。何のために
立っているのか不明だ。

「盗賊」と彼が日本語で語ったのは、彼
の話ぶりから、かつてのマオイストのこと
かなと推察される。現在は武装闘争を放棄
し選挙に参加して国政にかかわっているが、
武装闘争中は、自分たちの勢力圏で検問を
したり、通行税を徴収したり、ロッジから
カンパを強要したりしていたらしい。

そういった意味で、彼ら集団を「盗賊」
と言ったのかもしれない。

* 日本に帰ってから分かったことだ
が、・・・「コスモトレック」を訪ねた時に
出てこられた日本女性は、大津二三子社長
であった「コスモトレック」はヒマラヤ登
山隊、調査隊、撮影取
材班など大掛かりなパ
ーティーのサポートに、
トレッキングやネパ
ールの観光など手広く事
業を展開しており、多
くの実績を上げ、日本の登山隊も良く使っ
ているそうである。



枯葉散る クーンブ巡る トレッキング
(終)

★ 自主トレーニング

上田

毎月の第 1・第 3 の土曜日に、自主トレ
ーニングを楽しく取組んでいます。

土曜トレが始まって 3 年半、アクア交流
館南に 9 時集合、「平荘湖を一周し飯盛山
に登る・約 3 時間の歩行」を基本に続けて
います。ハードなトレーニングではなく、
2 週に 1 回の山歩きですが、自主的な体力
トレーニングとして、誰でも気軽に参加で
きる場として実行されています。

最近の参加者は 20 名前後です。今年の
総会后、土曜トレの委員会ができました。

その委員会のミーティングで、月 2 回
のうちの 1 回は、テーマを決めて取入れる
ことになりました。例えば、「山の歩き方」
「アイゼンの着け方、歩き方」など、また
今年からは、委員が輪番で土曜トレのリー
ダーを務めることになりました。仲間が集
まって山の話をしたり、世間話をしたりす
るのも楽しいものです。土曜トレは登山の
基礎的な技術、体力トレーニングの場であ
る共に、会員のコミュニケーションの場と
もなっています。

🌈 最近の土曜トレのテーマと内容

12/19	自己確保の方法	フィックスロープとシュリングで自己確保の練習
2/06	アイゼントレ	雪のある笠形山山行を想定しアイゼントレ
3/20	三角巾の使い方	骨折捻挫などの救急処置のために三角巾の使い方の練習
4/17	平荘湖周辺清掃	平荘湖周回路の清掃、全部で92kgものゴミを回収
5/15	パッキングと歩荷	夏山集中山行を想定し歩荷トレとパッキングの練習



井上

老人施設にお話相手や食事作りを週3～4回行っている。

ある認知症の方が「みんな忘れてしもおて、アホになってしもおた」と不安そうに言われる。その気持ちを推しはかるにはあまりにも複雑過ぎる。自分に重ね合わせ考えさせられる。楽しみにしていた山行にポカッで迷惑をかけてしまった。（心よりお詫びいたします。）

集合時間から逆算～6:50の電車・家を6:35に出る。（メモしてテーブルの上に置く。）～目覚まし時計をセット6:20（1時間以上余裕・ヨユウー？）このミスに気付いたのは乗車駅～1時間のズレにパニック！！ついに--と落ち込んだ！でも「誰にでも勘違いはある」と言い聞かせ---。しまいこんでいた還暦にもらった脳トレを取り出してきた。（笑）

森川

高御位山遊会に入会して1年が経過しました。山行にも多く参加している。個人的にも時々出掛けて山行を楽しんでいます。そこで感動する景色に出合っている。昨年の木曽駒ヶ岳は最高でした。景色のスケールがデカイ。北横岳のスノーシュートレッキングも良かった。

-8°の吹雪の中（体感温度はさらに低い？）の山行もスリルがありハマリそうになる。

近郊登山に於いても景色の良い所が多くあった。白山・三の峰は残念だったが学んだ事は大い。私には現在2人の孫（男3歳、女2歳）がいます。将来2人との山行を楽しみに、頂上からの展望と登山道の整備状況を記録に残しています。この1年で山遊会で教えて頂いた事を記すと、① 山を知ること。② 限界を超える努力をチョットだけすること。③ 引き返す勇気を持つこと。④ 山行を楽しむこと。ではなかったかと思います。

金婚式 おめでとうございます

会員の荘所さんご夫妻が金婚式を迎えられ
5月23日神戸新聞社から表彰を受けられました。

これからもますますお元気で、農作物づくり
と山登りに励んでください。

